



雀だより

第52号

チュンチュン

雀宮の魅力を発信!



I LOVE 雀宮講座「雀宮宿の歴史を学ぶ」

7/5 (金)



雀宮地区まちづくり推進協議会では、自分たちの住む雀宮の魅力を再認識し、地域に対する理解や愛着を深めるとともに、まちづくりに対する意識を高めるため、「I LOVE 雀宮講座」を開催しました。



同講座は、雀宮生涯学習センターとの共催により毎年開いているもので、3回目の今回は、日光街道16番目の宿場町である「雀宮宿」をテーマに、雀宮宿周辺の史跡等をめぐる「まち歩き」と、雀宮宿の歴史を学ぶ「講演会」の2部構成で実施されました。



見学会には26人が参加し、江戸時代に他国から働きに来ていた人々や旅人が亡くなった時の供養のために建てられたという「あらだて地蔵尊」(雀の宮6丁目)や、現存する文化遺産「仮本陣芦谷家」(同3丁目)などを訪ね、当時に思いをはせていました。

参加者からは、「いろいろな歴史の宝があるのを知り、地元に誇りがもてるようになった」「地域の歴史がよくわかり、充実した一日になった」などの声が聞かれ、第2部の講演会にも53人の参加があり、好評のうちに幕を閉じました。

第62回 雀宮納涼盆踊り大会

8/6 (火)



今回で62回目を迎える雀宮納涼盆踊り大会が、陸上自衛隊宇都宮駐屯地で開催されました。

会場では、特設された「やぐら」を中心に、お囃子の音色に合わせ、多くの参加者が盆踊りを踊り、また、自衛隊員の皆さんによる勇壮な「野州雷太鼓」が披露され、会場に花を添えました。

最後に、毎年恒例の約100発の花火が夜空を彩り、歓声とともに夏の夜のひとときを盛り上げていました。



もくじ

- 「NPO雀宮まちづくりプロジェクト」 入会のご案内 ②
- 自治会連合会・まちづくり推進協議会の新体制について ②
- 地域の皆さんの活動を紹介! 雀アラカルト ③
- 地域からのお知らせ ④
- 雀宮の歴史・史跡コーナー ④



雀だより「チュンチュン」は年3回発行します



「特定非営利活動法人 雀宮まちづくりプロジェクト」入会のご案内

私たちのまち「雀宮」は、江戸時代から宿場町として栄え、数々の文化が育まれてきました。

「特定非営利活動法人 雀宮まちづくりプロジェクト」（稲葉豊理事長）は、日々の生活の中で埋没しそうな江戸時代から昭和の暮らしの中で、先人が培ってきた文化や知恵を学び、後世に伝えていくことを目的に、平成31年2月に設立されました。

当面のおもな活動としては、かつての「雀宮宿」で唯一現存する「仮本陣芦谷家」（雀の宮3丁目）を拠点として、施設の整備を行いながら、地区の観光案内や古文書、書画・骨董の展示、地域イベントの開催などを行う予定となっています。

現在、10名のメンバーで活動をスタートしましたが、雀宮地区の多くの方に参加・支援していただき、雀宮のまちづくりを盛り上げていくため、正会員及び賛助会員を以下のとおり募集しています。



仮本陣芦谷家

年会費

	正会員	賛助会員
個人	3,000円	1,000円
団体・企業	10,000円	5,000円

申込方法

「雀宮まちづくりプロジェクト」のホームページから専用フォームで申し込みいただくか、以下にお問い合わせください。

【ホームページ】<https://suzumemachidukuri-project.jimdofree.com/>



【お問い合わせ】 特定非営利活動法人 雀宮まちづくりプロジェクト (電話 654-1013)

自治会連合会・まちづくり推進協議会新体制スタート

4月26日に自治会連合会、6月21日にまちづくり推進協議会の総会において、新役員が決定しました。

雀宮地区自治会連合会役員

- 会長 稲葉 豊
- 専任副会長 森 賢一郎
- 事務局長 松浦 正夫
- 会計 佐久間 昌平
- 社会福祉部長 鹿熊 忠治
- 体育部長 弓下 正道
- 青少年育成部長 山村 康秀
- 交通安全部長 横野 登代子
- 防犯部長 守谷 周三

- 監事 菊地 芳充
- 監事 布野 俊一
- 監事 鈴木 正躬

雀宮地区まちづくり推進協議会役員

- 会長 稲葉 豊
- 副会長 松田 一郎
- 事務局長 福田 恵一
- 会計 遠藤 廣
- 監事 鹿熊 忠治
- 監事 南部 照子
- 顧問 千葉 紘一
- 顧問 藤井 夏江



雀アラカルト

地域の皆さんの活動をご紹介します！

詳細は
ホームページで
ご覧いただけます

雀宮地域の情報満載!!
ホームページに今すぐアクセス!

雀宮地域 検索

<http://www.suzumenomiya.com/>
さらに詳しい情報はこちらへ!



4/20
土

例年の「レンゲまつり」に替わり「菜の花まつり」開催

例年、ゴールデンウィークの恒例だった雀宮地区むらづくり推進協議会主催の「レンゲまつり」ですが、今年は名称も「菜の花まつり」に変え、日程も連休前の4月20日(土)に、場所は例年通りの下反町公民館東側の田んぼで開催されました。

花は「レンゲ」から「菜の花」に替わりましたが、多くの子も連れが会場を訪れ、雲ひとつ無い青空の下、菜の花畑を走り回り、企画された宝探しやビンゴゲームなどのイベントに参加し、主催者心尽くしの美味しい豚汁や赤飯でお腹を満たしていました。

雀宮東小田植え (のみどり活動)

5月8日(水)、雀宮東小において、晴天のもと全校児童による恒例の田植えが行われました。地域ボランティアの「のみどり隊」やPTAの支援により、昭和52年から同校にて続いている活動で、上級生と下級生がペアになって田んぼに裸足で入り、泥んこになりながらも歓声をあげて熱心に取り組んでいました。

およそ3時間かけて苗を植え終えた後の給食では、昨年自分たちで植えて収穫したお米を食べ、自然の恵みに感謝するとともに今年の豊作を願っていました。



5/8
水



6/1
土

宇都宮市消防団消防操法大会

屋板運動公園にて、「宇都宮市消防団消防操法大会」が開催されました。消防操法として、ポンプで給水した水を火災現場に見立てた的へと放水し、消火・機材の撤収までの一連の手順について、操作の速さ・正確さを競いました。

雀宮地区を代表して出場した雀宮分団第1部・第3部の皆さんは、仕事を持ちながらも休日や夜間などに厳しい練習を重ねた成果を遺憾なく発揮し、見事な操法技術を披露しました。

市民総ぐるみ環境点検活動

雀宮地区防犯協会は、地域住民の防犯意識を啓発し、地域の安心・安全を促進することを目的に、地域の各団体、自治会及び関係機関、総勢132名で、「市民総ぐるみ環境点検活動」を実施し、地区内の道路や公園、空き家などの危険箇所をチェックし、関係各所に改善依頼書を提出しました。



7/7
日



7/7
日

雀宮神社夏祭り

いにしえからの長い歴史を誇るわがまちの守り神、「雀宮神社」の夏祭りが7月7日に開催されました。

古式にならない、厳かに「夏越しの祓い」(今年前半の穢れを落とし、残り半年の健康と厄除け祈願をするもの)を行い、次いで御神輿と担ぎ手のお祓いをしました。そののち、御神輿は粋な若衆に担がれ、威勢の良い掛け声高く日光街道に繰り出し、沿道の声援を受けながら南下、かつての仮本陣芦谷家の門前でしばし休憩し、日の出交差点まで練り歩きました。

育成会花いっぱい運動審査会

雀宮地区青少年育成会は、「花いっぱい運動」の審査を行いました。6月に子どもたちが植えた花苗は、水やりや花がら摘みなど、日々の手入れのおかげで立派に育ち、色とりどりの花を咲かせていました。

審査の結果については、8月31日の表彰式で発表されます。



7/27
土

令和元年度 主要イベント日程 (9月~12月)

- 9/14(土) 雀宮地区敬老祝賀会
(南図書館サザンクロスホール)
- 10/13(日) 雀宮地区健康・福祉まつり
(雀宮地区市民センター)
- 11/16(土)・17(日) 第47回雀宮地域文化祭・収穫祭
(雀宮地区市民センター)
- 12/ 1(日) 第10回雀宮ちゅんちゅんウォーク大会
(雀宮地区市民センター)
- 12/18(水) 雀宮映画祭第2弾「ゼロからの風」
(雀宮地区市民センター)

成人式への協賛を募集します！

宇都宮市では、新成人の門出を全市をあげて祝い励ますとともに、参加した新成人の「地域社会の一員としての自覚」や「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むことを目的として、令和2年1月12日(日)に成人式を実施します。

成人式では、地域の企業・団体の皆様とともに新成人を祝い応援する制度として、協賛制度を導入しています。令和2年成人式につきましても、新成人が思い出に残る式となるよう、地域の皆様のご協賛をお願いいたします。

なお、ご協賛をいただいた企業・団体につきましては、新成人応援ポスター・チラシ、市のホームページへ名称の掲載をいたします。

詳しくは雀宮地区市民センター(654-1013)まで。

地域を支える団体を紹介 「交通安全協会」



雀宮地区交通安全協会は、雀宮地域の皆さんが安心して安全な日々を過ごせるよう、毎月10日に交通事故ゼロを目指して日の出交差点で啓発活動を行っています。

日々高齢者の事故が多く、心を痛めています。一人一人がもう少し気を付けることで事故は防げる事と信じて活動を続けています。

春・秋の交通安全週間では、500人以上の方にご協力いただいておりますが、少しでも多くの方に活動に参加していただければ幸いです。ボランティアさんも常時募集しておりますのでご協力の程よろしくをお願いいたします。

歴史ある雀宮地区の史跡などを紹介するコーナーです。

雀宮の歴史・史跡 河内郡の官衙(かんが)遺跡 12 西下谷田遺跡

西下谷田遺跡は、上神主(かみこうぬし)・茂原官衙遺跡に先行する官衙遺跡で、郡家(ぐうけ)の前身である「評家(ひょうけ)」の可能性が指摘されています。

本遺跡は、古墳時代前期に集落が営まれ、その後、集落が一旦途絶え、六世紀末~七世紀初頭にかけて円墳が四基築造され墓域となります。そして、七世紀後葉~八世紀初頭にかけて、その南側のエリアに東西推定108m×南北約150mの柵列を巡らし、その中に長大な掘立柱建物や大型の竪穴建物跡を配する官衙的な施設が設けられます。

南側の門が棟門(むなもん)から八脚門(はつきやくもん)に造り変えられること等から、二時期あることがわかっています。この施設の周辺には、同時期の竪穴住居跡があり、その中には新羅(しらぎ)系の土器を出土する竪穴住居跡もあることから、この施設及び周辺には新羅に関係した人がいたことが想定されています。

現在この場所は、宇都宮市の清掃施設である「クリーンパーク茂原」及び栃木県の下水道資源化工場の敷地となっています。

【雀宮郷土史研究会】



平瓶と円面硯



西下谷田遺跡全景写真(栃木県教育委員会蔵)

雀宮地区の人口

(令和元年8月1日現在)

人口 41,265人

男性 20,585人

女性 20,680人

世帯数 16,938世帯

編集・発行

雀宮地区まちづくり推進協議会
(雀宮地区市民センター内)

〒321-0133 宇都宮市新富町9番4号

Mail u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp

TEL 654-1013 FAX 653-5646